

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 13 日作成)

小委員会名	集合住宅騒音防止住まい方 マニュアル刊行小委員会		主 査 名：池上雅之 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・本小委員会は、騒音によるトラブルの低減を目的として、主に集合住宅の居住者等を対象とした啓蒙書を刊行する。</p> <p>2014 年度活動計画 (目標) 1)執筆担当者を決定し、具体的な執筆に取りかかる。 2)適宜、出版社との打ち合わせを行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり		
	主査：池上雅之 (大林組) 幹事：嶋田泰 (三井住友建設) 委員：鈴木和憲 (竹中工務店)、村石喜一 (音環境研究所)、宮島徹 (清水建設) 竹林健一 (鹿島建設)、峯村敦雄 (鹿島建設)、中澤真司 (鉄建建設) 冨高隆 (大成建設)、濱田幸雄 (日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2014 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 執筆担当者を決定し、具体的な執筆に取りかかった。達成度 100% 2. 出版社との打合せを進め、体裁や頁数の見込みを立てた。達成度 100%
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2. 3.

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>当初予定していた 2014 年度の活動計画（目標）は、全て満足したので総合評価を A とした。</p> <p>なお本小委員会の設置期間は、申請当初 2 年間であったが、親委員会の設置期間の区切りと合わせるよう事務局から指示があり、1 年目で廃止し、新たに 2015 年度から 1 年間の小委員会を立ち上げることになった。そのため本来は 2014 年度の間年度評価に当たるが、上記理由で最終年度評価とし、刊行物の刊行はまだない。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。